



都立高校で生徒と地域住民が自転車安全教室に参加 ～地域住民が参加するまちづくり検討会が開催を提案～

と き 12月20日(金) 午前10時30分～11時45分

ところ 都立第四商業高等学校(貫井3-45-19)

20日、交通事故の防止を目的として、都立第四商業高校に通学する生徒や地域住民を対象に、スタントマンが交通事故を再現するスケアード・ストレイト方式の自転車安全教室が開催された。(参加者：第四商業高校600名、地域住民20名)

同校がある貫井・富士見台地区は、道路が狭く自動車交通量も多いことから、歩行者の交通安全や災害時の避難路の確保などの課題を抱えている。地元住民で構成される富士見台駅周辺まちづくり検討会で、生徒や住民の交通事故を心配し、啓発事業の実施を求める声があがった。そこで、区と練馬区環境まちづくり公社が、第四商業高校と地元町会、商店会の協力を得て、自転車安全教室を開催することとなった。(平成24年に区内で発生した交通事故での死傷者数の約34%が自転車利用者である。)

この日は、傘や携帯電話を使用中の衝突事故など過去にあった事例が再現され、生徒達からは驚きの声があがっていた。2年生の女子は「改めてしっかりルールを守らないといけないと思いました」と真剣な表情で話してくれた。



自転車安全教室の様子



自転車安全教室の様子

【まちづくり検討会で地域住民が発案】

練馬区のほぼ中央に位置する貫井・富士見台地区は、昭和30年代に人口が急激に増加したことから、道路や公園の整備が不十分な状態で市街化が進み、狭く曲がりくねった道路や行き止まりの道が多い。このため、区は「災害に強く、安全・安心で住みよいまちづくり」を目指し、平成23年から、道路や公園の整備等を行う密集市街地整備促進事業に取り組んでいる。富士見台駅周辺まちづくり検討会(地域住民22人が参加)を組織し、地域のまちづくりや問題点を話し合う中で、生活道路等の歩道整備に加え、交通事故を心配する声が多くあがり、同地域で初めて自転車安全教室が開催された。

【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部 都市整備部

東部地域まちづくり課 まちづくり担当係 電話 03-5984-4749